

生態系等への影響について文献等で指摘があり、さらに知見及び情報の充実に努める必要のある外来生物のリスト (要注意外来生物リスト)(暫定版)

1. リスト作成の目的

生態系等への影響が文献等で指摘されている外来生物について、今回の特定外来生物の選定作業では、被害に係る科学的知見及び情報が不十分であるとの理由から、選定されなかった外来生物がある。

これらの外来生物について、生態系等に係る被害の予防に役立つことを目的にリスト化し、それらの生物の利用に関し留意すべき事項を掲げて公表することにより、関係者に影響の内容を周知し、管理されている施設や場所以外に逸出又は遺棄しないようにするなど注意を呼びかけるとともに、さらなる知見及び情報の集積を図ることとする。

(参考)「中央環境審議会外来生物対策小委員会岩槻委員長談話」抜粋

「外来生物問題に予防的に対処する観点から、特定外来生物には指定されていないものの生態系等に被害を及ぼす懸念があるものについて、要注意生物リストといったものを作成する必要がある。そうしたリストが公表されることにより、関係者が日頃より外来生物の使用に関心を持ち、さらなる知見が集積され、被害の予防に役立つようになることが期待」

2. リストの内容

生態系等に係る被害を予防するため、生態系等への影響が文献等で指摘があり、その取扱いに際して注意を呼びかけるとともにさらなる知見及び情報の集積を図る必要がある外来生物をリストに掲載する。

被害に係る知見や情報の蓄積がある程度見られる外来生物については、別途個票を整理し、リストに添付するものとする。

なお、各分類群グループ会合の意見を踏まえて、作成した案は別添のとおりであり、挙げられた種類数は、哺乳類 15 種、鳥類 2 種類、爬虫類 12 種類、両生類 9 種、魚類 27 種、昆虫類 3 種類、無脊椎動物 20 種類、植物 60 種類で計 148 種類であった(種類数としているのは、「外国産メジロ」「アメリカスッポン属全種」「台湾ンシジミ群」「タンポポ種群」など、まとまりでの選定があるため)。

3. リストの公表

学識経験者の意見を踏まえて作成したリストについて、環境省において公表する。

公表に際しては、本リストの目的、取扱いを明記し、掲載種が外来生物法の規制の対象でないことも付記し、外来生物の利用者に混乱を与えないよう留意するものとする。

生態系等への影響について文献等で指摘があり、さらに知見及び情報の充実に努める必要のある外来生物のリスト
(要注意外来生物リスト) 植物(案)

* 日本生態学会ワ-スト100 IUCNワ-スト100

導入・利用の形態	和名	*	学名	文献等で指摘されている影響の内容	主な参考文献	備考
意図的導入	園芸(水草)		<i>Azolla caroliniana Willd.</i>	生態系(競合・駆逐・遺伝的攪乱)、農林水産業	14,21	運搬や栽培に当たり管理されている施設や場所以外への逸出を起こさない適切な方法で行うことが重要。 また、遺棄を起こすことがないよう、関係業者や栽培者に普及啓発を行うことが重要。 ピオトープ創出等の目的で公共事業や学校教育において利用する場合には地域の生態系への影響に注意が必要。 (オオフサモ、オオカナダモ、ホテイアオイ、ボタンウキクサについては、参考資料2を参照)
			<i>Salvinia molesta Mitch.</i>	生態系(競合・駆逐・遺伝的攪乱)、農林水産業	14,19,24	
			<i>Cabomba caroliniana A. Gray</i>	生態系(競合・駆逐)	19,22	
			<i>Ludwigia repens J. R. Forst</i>	生態系(競合・駆逐)	3,21	
			<i>Myriophyllum brasiliense Cambess.</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	参考資料2を参照	
			<i>Bacopa monnieri Pennell</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	12,16	
			<i>Nymphoides aquatica Ktze.</i>	生態系(競合・駆逐)	20	
			<i>Sagittaria graminea Michx.</i>	生態系(競合・駆逐)	19,26,27	
			<i>Egeria densa Planch.</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)、農林水産業	参考資料2を参照	
			<i>Elodea nuttallii (Planch.) H. St. John</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)	23,26,28,29,30,31,32,33	
			<i>Eichhornia crassipes (Mart.) Solms-Laub.</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)、農林水産業	別添個票参照	
			<i>Iris pseudoacorus L.</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	1,4,14,23	
			<i>Pistia stratiotes L. var. cuneata Engler</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	参考資料2を参照	
園芸(陸生)			<i>Oxalis corymbosa DC.</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	5,13	運搬や栽培に当たり管理されている施設や場所以外への逸出を起こさない適切な方法で行うことが重要。 また、遺棄を起こすことがないよう、関係業者や栽培者に普及啓発を行うことが重要。
			<i>Erigeron philadelphicus L.</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)、農林水産業	1,5,6,8,9,12,17,18	
			<i>Rudbeckia laciniata L. var. laciniata</i>	生態系(競合・駆逐)	34,35,36,37	
			<i>Solidago altissima L.</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)	1,5,7,8,9,17,38	
			<i>Stenactis annuus (L.) Cass.</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)、農林水産業	6,8,9,12,39,40	
			<i>Tradescantia fluminensis Vellozo</i>	生態系(競合・駆逐)	3,10,11	
			<i>Amorpha fruticosa L.</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)	1	
緑化			<i>Leucaena leucocephala (Lam.) de Wit</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)	2,41,42,43	緑化目的の使用に際しては、使用場所からの逸出により、生態系に影響を与える可能性が指摘されていることに留意し、生態系等への影響評価の仕組みの構築を検討しつつ、必要に応じて代替となる手法の開発や実行体制の整備を行うなど総合的な対策を進めることが必要。 (シナダレスズメガヤについては、参考資料2を参照)
			<i>Robinia pseudoacacia L.</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)	1,7,8,17,44,50	
			<i>Ligustrum lucidum Ait.</i>	生態系(競合・駆逐)	1,45,46,47,48,49,50,51	
			<i>Artemisia sieversiana Willd.</i>	生態系(競合・駆逐)	1,3,15	
			<i>Eragrostis curvula (Schrad.) Nees</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)	参考資料2を参照	
			<i>Festuca arundinacea Sch.</i>	生態系(競合・駆逐)	1,6,14,15	
			<i>Dactylis glomerata L.</i>	生態系(競合・駆逐)	1,6,14	
			<i>Elymus repens (L.) Gould var. repens</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)	14,16	
			<i>Paspalum distichum L. var. distichum</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)	14,16,17	
			<i>Phleum pratense L.</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)	3,6,14	
			<i>Nasturtium officinale R. Br.</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	13,19	
その他			<i>Helianthus tuberosus L.</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	3,4,6,12	
			<i>Taraxacum officinale Weber, T. laevigatum(Willd.)DC.</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱、遺伝的攪乱)、農林水産業	1,5,9,12,18,52,53,54	

非 意 図 的 導 入	混入等	ハリビユ	<i>Amaranthus spinosus L.</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)、農林水産業	4,12,15	逸出して生態系等に影響を及ぼすことを防止するため、導入される経路について現状を把握し、管理されている施設や場所以外への逸出を防ぐ方を検討することが必要。
	イビ	<i>Abutilon theophrasti Medik.</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)、農林水産業	1,13,17		
	エノキシキシ	<i>Rumex obtusifolius L. var. agrestis (Fries) Celak</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	3,4,13,16,17,36		
	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus L.</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	1,5,6,12		
	ハルザキヤマカラシ	<i>Barbarea vulgaris R. Br.</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)、農林水産業	1,3,4,11,13		
	ドクニンジン	<i>Conium maculatum L.</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	3,5,13		
	コマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis L.</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)、農林水産業	6,13		
	コマツヨイグサ	<i>Oenothera lachniata Hill</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)	9,10,59		
	フルナシ	<i>Solanum carolinens L.</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	1,3,5,6,12		
	ヤセウツボ	<i>Orobancha minor Sm.</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	3,4,12		
	ハラオオハコ	<i>Plantago lanceolata L. var. lanceolata</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	3,4,6,12,15		
	アメリカネナシカスラ	<i>Cuscuta pentagona Engelm.</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	3,4,5,12		
	セイヨウヒルガオ	<i>Convolvulus arvensis L.</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	4,5,14		
	オオフタバムグラ	<i>Diodia teres Walter</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)	10,11,59		
	オオカワヂシャ	<i>Veronica angallis-aquatica L.</i>	生態系(競合・駆逐・遺伝的攪乱)	3,12,22		
	アメリカオニアザミ	<i>Cirsium vulgare (Savi) Ten.</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	3,4,5,11,12		
	かツレトドキ	<i>Anthemis cotula L.</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	4,12,16		
	アケカサ	<i>Ambrosia elatior L.</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)、農林水産業	3,5,6,9,12,15,17		
	アケサ	<i>Hypochoeris glabra L.</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	3,5,6,9,12		
	オオナミ	<i>Xanthium canadense L.</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)、農林水産業	1,3,4,6,8,12,17		
オオアケサ	<i>Ambrosia trifida L.</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)、農林水産業	1,3,5,6,8,9,12,17,52,56,57,58			
アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa L.</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	3,6,12,15,17			
コセンダングサ	<i>Bidens pilosa L. var. pilosa</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	3,4,6,10,12			
オオアレチノギク	<i>Conyza sumatrensis (Retz) Walker</i>	生態系(競合・駆逐・環境攪乱)、農林水産業	1,3,5,9,12,17,18			
ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis L. var. canadensis</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	3,5,6,9,12,15,17,18			
メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus L.</i>	生態系(競合・駆逐)	10,14			
メリケンガヤツリ	<i>Cyperus eragrostis Lam.</i>	生態系(競合・駆逐)、農林水産業	10,11,14			

文献については、別添文献リストを参照。

1. 追加

・第2回会合での委員意見(シナダレスズメギクを「特に注意を要する外来生物」にすべき)を踏まえ、別添個票を追加した。

・ハルジョオン・コセンダングサ(勝山委員)、トウネズミモチ(真鍋委員) 追加した。

・ノハカタカラクサ(トキワツクサ)・コマツヨイグサ・メリケンカルカヤ・メリケンガヤツリ(勝山委員)、オオフタバムグラ 生態影響に関する文献について勝山委員に照会後、追加した。

2. 削除

・ハルシャギク(須藤委員) 削除した。